

学校だより

つばき

令和7年度12月号
南砺市立南砺つばき学舎

9年間の集大成

校長 天野 泰嘉

今年も、あとわずかになりました。4月以降、南砺つばき学舎の子供たちは、日々の授業や学校行事等、様々な場面で頑張る姿を見せてくれました。

その中でも特に私の印象に残っているのは、持久走大会です。1年生から6年生までの、一人一人の走る姿に目を奪われました。持久走が好きな子供や得意な子供ばかりではないはずです。しかし、苦手な子供やあまり好きではない子供も、自分の目標をしっかりともって最後まで走り切ろうとする姿、ラストスパートをかけて全力でゴールする姿に、胸を打たれました。県中学駅伝にチームとして挑戦した中等部の子供たちも応援に駆け付け、一生懸命に声援を送っている姿にも、胸が熱くなりました。と同時に、苦しいことにも立ち向かう南砺つばき学舎の子供たちの力と、一体感を、強く感じました。



話は変わりますが、私は11月2日の井口地域生涯学習フェスタでお話をする機会をいただきました。以前から私は、本校の学校教育目標には地域の方々の願いが込められていると聞いていました。そこで私は、これを機に、その願いを地域の方々に直接伺いたいと思い、学校教育目標にある『世界に羽ばたく子供の育成』とは何かを、会場の皆様に問いかけました。すると、何人の方が手を挙げてください、「英語教育の充実」はもちろん、「世界に通用する人間性」や「未知の世界に挑戦する姿勢」の育成等、様々な熱い思いを語ってくださいました。私は、地域の方々の熱い思いに感動を覚えながら、これらの言葉をしっかりと受け止め、9年間を通して子供たちが着実に力を付けていくよう取り組んでいきたいと、改めて思いました。

9年生は今、いよいよ義務教育学校の集大成として、自分の進路を深く考え、その実現に向けて取り組んでいるところです。子供たちが南砺つばき学舎で培った力を土台に、自分の決めた道で励むことで、結果として、身近な人や地域、社会全体や世界の人々がより豊かに幸せになっていけるといいと思います。子供たち自身が、将来に向けて心豊かにたくましく生きていけるよう、ご家庭、地域の皆様と共に支えていきたいと思います。

1月の行事予定

1日 (木) 元日
8日 (木) 始業式 書初大会 給食開始
9日 (金) 集金振替日 発育測定 読み聞かせ
12日 (月) 成人の日
13日 (火) ごみ拾いボランティア クラブ
15日 (木) アルミ缶回収

16日 (金) 1~6年スキ教室 英語検定 9年保護者会
23日 (金) 委員会
24日 (土) 学習参観
校内カルタ、百人一首大会
26日 (月) 振替休業日 (1/24の振替)
30日 (金) 誕生会食 前期子供会役員選挙



第27回富山県ボクシング選手権大会（秋季）

アンダージュニアの部小学男子43kg級 1位 (b-studio)

第50回富山県学生競書展 特待生
特選
金賞

第1回南砺市バドミントン綿貫杯スポーツ大会

女子Aクラス 1位 (InokuchiBS)
男子Aクラス 1位 (InokuchiBS)

富山国際大学付属高等学校主催中学生英語スピーチコンテスト

レシテーション部門 8位

第40回野々市市中学生バドミントン大会

女子の部 優勝 (InokuchiBS)
税に関する作文 佳作
税に関する絵葉書コンクール 入賞

第14回南砺市インドアソフトテニス大会

女子Aの部 1位

第2回富山県中学生新人バドミントン選手権大会

女子シングルス 3位 (InokuchiBS)
男子団体 3位 (InokuchiBS)

収穫祭 感謝の気持ちをこめて…



11月25日に、5月にサツマイモの苗植えでお世話になった地域の方々や、畑の草刈りでご協力いただいた育成会の方々をお招きし、「収穫祭」を行いました。

お招きした方々を交えて、楽しく活動しました。4、5、6年生の子供代議員が担当した「共通探しゲーム」では、質問を重ねながら班の仲を深めました。また、環境美化委員会による「サツ



マイモクイズ」では、班ごとに相談しながら答えを決める姿が見

られ、会場には笑顔が広がりました。最後に、子供たちが収穫したサツマイモをお客様にプレゼントし、感謝の気持ちを伝えました。

南砺つばき学舎の学校生活が多くの方々に支えられていることを改めて実感し、感謝の心を深めるよい機会となりました。お忙しい中ご来校いただいた皆様、どうもありがとうございました。



読書に親しむ（9年生）



9年生は、あと3か月余りで卒業を迎えます。井口小学校に入学した当時から朝読書を続け、4月に実施した全国学力学習状況調査ではどの子供も「読書が好きだ。」と答えており、正答率も高くなっています。

読書のよさはいろいろありますが、彼らは「自分と違う世界観を味わうことができて純粋におもしろい。」「体験していないことも体験したような気持ちになれる。」と口をそろえて、読書の楽しさを話しています。

9年生になると実力テストがたびたび実施されますが、国語の説明文や小説は初めて出会う作品がほとんどです。しかしながら、日ごろから読書に親しんでいる子供は、二千字程度の文章を読むことも問い合わせに答えることもそんなに難しいとは感じていないようです。

受験が近付き、読書の時間をなかなか確保できないようですが、これから季節、暖かい部屋で好きな本を読んで気分転換を図るのも楽しいと思われます。上級生の姿からぜひ学んでほしいものです。

